

**【感想】** スウェーデンへの留学は、沢山の気づきを私に与え、自分自身についても理解するかけがいのない機会となったと考える。

留学先のスウェーデン王立工科大学では、授業のスタイルがディスカッションやグループワーク、プロジェクトなどが中心で、語学力不足や考え方の違いで苦労も多かったが新たな発見の連続で学ぶ事の楽しさが実感できた。特にプロジェクトのコースでは、実際に国際的なチームで掘削と矢板の設置のプロジェクトや街づくりのプロジェクトに携わり、国際的なチームの一員としてプロジェクトの成功に貢献するという経験が出来た。

スウェーデンでの生活は、驚きの連続だった。平日の昼間にお父さんがベビーカーを押して公園に出かける光景、24時間利用可能な公共交通、現金を持ち歩かずカード決済そして街中にある自然豊かな公園、まさに近未来にいるような感覚だったと思う。

そのようなスウェーデンでの生活や勉強の中でも特に印象深く、私に大きな影響を与えたことは、ヨーロッパの個人主義だと考える。日本には同調圧力が少なからずあり、周りを気にしたり、周りのために自分を犠牲にして自分の選択をしない傾向が自分自身の経験を含めてもあるように思えました。しかし、スウェーデンでは、個人が尊重され、人が而立していると感じました。それが少なからず、スウェーデンのイノベーション力に影響していると考えます。現に、ストックホルムは、人口100万人の都市ですが、ユニコーン企業(時価総額1000億以上の非上場企業、主にスタートアップ企業)がヨーロッパで一番多い都市です。

一旦その個人が尊重され、自分が多様性の一部となるような環境では、まわりと切磋琢磨する事で自分自身の考えがより洗練され、自己をしっかりと考える事を可能にさせたと思います。確かに、多様性の中で物事を先に進めたり、議論することは、予想以上に大変だったと思います。しかし、その今まで触れたことのない事に直面し、それを対処することによって、今まで自分になかったものが自分の一部になるようで、人や社会を通して学び成長する事が出来たと思う。

最後に、このような素晴らしい経験が出来たのは、京土会の経済的なご支援があったおかげです。深く御礼申し上げます。